

第24回 番組審議会 議事録

開催日時：2018年10月25日（木）16：15～17：30

会場：京都府舞鶴市字円満寺 158-6 西市民プラザ 2階 市民活動団体活動室

委員総数：7人 出席：4人 欠席：3人

出席委員：水嶋純作、山内茂樹、楠崇智、松井恭子

欠席委員：尾関善之、山下美晴、今安博和、

局側出席者：ジェネラルマネージャー 時岡浩二

放送局長 中西 進

制作チーフ 上田秀篤（順不同敬称略）

議 事

1. 局からの報告事項

- ① 女性新パーソナリティは10/2（火）の朝の番組「まいづるモーニングブリーズ」でデビューした。また、高校生パーソナリティは録音番組「10代のトビラ」で10/5（金）でデビューした。
- ② 追加の新パーソナリティ募集を10/17（水）～11/2（金）の予定で募集中（Face BookとHome Page掲載中）。
- ③ 9/30～10/1（日～月）の台風24号に伴い、下記のように割込放送を実施し、気象情報、舞鶴市からの避難準備・高齢者等避難開始情報、避難所情報、避難勧告、交通情報等を放送した。

【台風24号 割込放送】

9/30（日） 16回 180分

10/1（月） 1回 7分

合計 18回 187分

- ④ 11/11（日）告示、18（日）投開票の舞鶴市議会議員一般選挙に向けて、開票速報番組を投開票日当日の20～24時に放送すべく準備中。事前の投票啓発、期日前投票などの周知番組も放送予定。
- ⑤ 10/6（土）に「五老スカイカフェななこ」で公開収録（寝ても眠れない日本人へ）とクリスタルボール LIVE を実施した。客席は満席だった。放送は10/12, 19, 26（各金曜日）の20:00～20:14。
- ⑥ 10/5（金）から12月までの予定で毎週金曜日09:06～9:35で「京都移住ラジオナビ」と題した番組を放送開始した。第1・2週はFMまいづるが制作、第3・4週は京都三条ラジオカフェが制作。FMまいづるからは京都府北部の移住促進の取り組み、移住者へのインタビューを、京都三条ラジオカフェからは京都府における移住促進への取り組みを紹介。京都府の提供で放送。
- ⑦ 来年1月13日（日）に赤れんが5号棟行われる平成31年舞鶴市成人式の中継放送および2号棟でのFMまいづる独自の関連企画番組の中継放送を計画している、

2. 議題

- ① 番組審議 2018年10月19日(金)20:15~20:29放送の
10代のトビラ(10月からの新番組)
パーソナリティ:ペタイム
レギュラーメンバー:セツナ、リョウ、モトヒロ

内容概略:現代社会は、ゲーム、スマホ、SNS、AIなど、子供を取り巻く日常が日々急激に変化している。そんな中で学校や仲間、家族との関係に様々な問題を感じ、不登校になったり、発達障害を持ちながら自分の将来を見つめる子供達がいる。この番組は、マイノリティを意識しつつ社会に生きている高校生達が自らの言葉で、今感じていること、未来の自分や社会について自由な発想で発信する10月からの新番組である。今回は第3回目の「いじめられた経験」を聴いて審議いただいた。

【主な意見】

- コミュニティ放送で聴きたかった番組であり、歓迎する。
- 出演者の実名(姓名)を出すことは支障があり、ラジオネームやファーストネームだけで出演しているのは理解出来るが、どういったマイノリティの立場で出ているのかがわかるキャッチフレーズ的な言葉を毎回自己紹介のところで言うと、どんな思いを持った人が集まっているのかがリスナーに伝わりやすい。そうすれば、番組のスタンスもわかる。
- 出演者にはラジオという表に立つかぎりは、ネガティブではなくてポジティブスタンスで続けて欲しい。
- 放送時間が短い。内容的にはネガティブな話題だが、話し方が明るくてよい。敏感な内容ではあるが、大人の世界にも通じる問題であり、今後、本質的なものを掘り下げてほしい。
- 現代社会が抱えている問題、心の問題を扱う番組は貴重である。一人で悩みを抱えている人には励みになる番組である。
- いじめに遭われている方が、今後どういう風に番組を進めていくのかが課題。この番組に出演されている方は明るく、一定程度問題を乗り越えてきた方と感じる。不登校や発達障害を持っている他の多くの方はこの番組を聴く余裕も無く、家から出られない。そういう人がこの番組を聴くまでには時間がかかるように思う。
- この番組の出演者が出られるようになったのは何故か?何かきっかけがあったはずで、そうしたことを話して欲しい。悲惨な体験だけの話しに終わらずに。
- 局として、マイナーなことを取り上げるはよい。こういう問題はだんだん少数ではなくなっている。こういうところに視線を合わせてくれる局があるのはよい。
- 発達障害等を持つのは、この番組に出ている4人だけではないということがわかる客観性を担保できるとよい。例えば、リスナーの体験談をテーマに話すと客観性が担保できるのではないか。
- いじめた側の人にゲストとして出演してもらい話を聴くのものよい。
- 番組内で個人や組織が特定されるようなことにならないよう、最大限の配慮を望む。
- マイノリティな人達に道しるべとなるような番組になっていくことを望む。

② その他の番組等に関する意見等

- 来年2月に、東日本大震災を経験された東北地方の先生が舞鶴に来られる。開局前にも来られ、震災体験や防災教育の講演をされた方である。FMまいづるは「災害・防災情報提供サポーター制度」を本年創設したこともあり、今回、同サポーターや市民を集めて「防災座談会」のようなものを開催してはどうか。また、その先生に番組に出演してもらうのもよいだろう。

以上で審議は終了した。

この審議会の議事録は2018年11月1日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の議事録は2018年11月1日からホームページで公開した。